



## 一人ひとりの善意よ、届け！ 赤い羽根チャリティー演芸会

赤い羽根共同募金運動期間中の11月18日、「赤い羽根チャリティー演芸会」（同実行委員会主催）がふれあい交流センターくまいし館で開催されました。演芸会では、熊石カラオケ愛好会のほか、熊石町内会連絡協議会や熊石ボランティア協議会、熊石老人クラブ連合会等による歌や踊りが披露され、来場した約100名が一体となって楽しいひと時を過ごしました。

なお、今回の演芸会で頂いた寄付金は総額61,721円となり、熊石カラオケ愛好会松田会長より熊石地区共同募金委員会の手塚会長に手渡されました。



## 自分たちのまちは自分たちで守る！ 熊石地区地域防災力 向上研修会

11月29日、ふれあい交流センターくまいし館で、熊石地区地域防災力向上研修会（町・道総研主催）が開催され、地域住民や町内会役員のほか、町職員、消防職員など約60人が参加しました。

はじめに、熊石地域で地震津波研究に取り組んでいる北海道立総合研究機構の戸松誠氏による講演会が行われ、熊石地域の津波浸水区域についての説明や、災害発生時に自分で自分の身を守る「自助」と町内会やご近所同士で助け合う「共助」の重要性を参加者に訴えました。

つづいて、北海道が開発した避難所運営ゲーム（Doはぐ）を参加者全員で行い、実際に起こりえるさまざまなシチュエーションに対する対応を学びました。参加者からは、日頃からの訓練が重要だと実感したなどの声が上がっていました。



## おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に楽しいね！ お年寄りと子どもの集い もちつき大会

12月8日、「お年寄りと子どもの集い もちつき大会」（教育委員会主催）が公民館で開催され、お年寄りや児童など約50人が参加しました。

前半は杵と臼を使ったもちつきに挑戦。おじいちゃん達と協力し、杵の重さに負けずに力強くもちをついていました。後半は、ついたおもちを食べやすい大きさに丸め、おばあちゃん達と一緒に丁寧に調理を行いました。

出来上がったおもちは、雑煮にしたり、あんこ、きなこ、砂糖醤油などの味付けをし、みんなで美味しくいただきました。最近では杵と臼を使ったもちつきを行う機会も減ってきており、お年寄りも子どもも貴重な時間を過ごすことができました。

